

トップメッセージ



時代の変遷の中で、常に挑戦、変革し続け、皆さまの期待に応えてまいります。

サンデンホールディングス株式会社
代表取締役社長
神田 金栄

サンデングループは、「冷やす・暖める」をキーテクノロジーとして、時代と共に業務用冷凍・冷蔵ショーケース、自動販売機、カーエアコン用コンプレッサー、カーエアコンシステムなどへと事業活動を広げ、世界中のお客さまと取引をさせていただいております。

当社グループにおきましては、昨今の為替の変動や市場環境の変化により、2016年8月から抜本的構造改革に取り組んでまいりました。全社を挙げて抜本的構造改革に取り組むとともに、社員一人ひとりが価値ある仕事を追求し、改善改革活動を展開し、着実に成果が出てきております。これも当社グループに関係されるステークホルダーの皆さまのご支援、ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

企業価値創造に向けた取り組みを推進

当社グループでは、成長路線への回帰を目指し、2017年度を初年度とする2020年度までの中期経営計画をスタートさせました。全社を挙げて抜本的構造改革を速やかに完遂するとともに、中期経営計画における重点施策である4つの柱に基づく取り組みを積極的に進めております。

特に、「企業価値創造に向けた事業ポートフォリオの適正化」につきましては、当社グループが掲げる「環境成長領域」への資源集中を行っております。

中期経営目標(2020年度連結ベース)

売上高	3,200億円
経常利益率	5%
株主資本比率	25%

4つの柱からなる重点施策

1	収益性向上に向けたコスト構造改革	調達構造改革
		生産性革新
		品質改革
2	財務体質強化に向けた資産効率改善	投資の選択と集中
		運転資本削減
		ノンコア資産売却
3	企業価値創造に向けた事業ポートフォリオの適正化	環境成長領域への資源集中
		コーポレート・ガバナンスの強化
4	持続的成長に向けた経営システム革新	グローバル経営管理の強化
		意思決定システム改革

自動車機器事業におきましては、ハイブリッド自動車や電気自動車などの「環境対応車」の普及が進む中、ヒートポンプシステム、電動コンプレッサー、CO₂コンプレッサーなどの「新技術・新商品」を主軸に、熱マネージメントシステムの視点から、さらなる成長を図ってまいります。

流通システム事業におきましては、大きく2つの成長の軸で進めてまいります。ひとつは「新市場」です。これまで国内で培ってきたコールドチェーンのビジネスモデルをグローバル、特にアジア市場に展開します。もうひとつの軸は「新技術・新商品」です。現在のコールドチェーンにIoT技術を加えた、高品質・高鮮度の「最適温度管理」を軸に、高効率コールドチェーンシステムで、お客さまにソリューションを提案・提供し、成長を図ってまいります。

コンプライアンス/コーポレート・ガバナンスの強化

2017年3月、当社と欧州にある当社グループ会社は、EU競争法に違反する行為を行ったとして、欧州委員会から課徴金の支払いを命ずる旨の決定を受けました。当社グループは、この事態を極めて厳粛に受け止め、コンプライアンス体制および規程の見直し、社員の再教育、定期的な監査の取り組み等、さらなる徹底と強化に取り組んでおります。

また、2017年6月、新たに社外取締役1名を招聘(しょうへい)し3名体制とするとともに、任意の指名・報酬委員会を設置しました。コーポレート・ガバナンスの強化をより一層進めていくとともに、企業の社会的責任を果たしながら、持続的な成長と中期的な企業価値の向上を図ってまいります。

社会から信頼されるサンデnbrランドの確立に向けて

当社は、2018年に創業75周年を迎えます。当社グループの企業理念体系のもと、時代の変遷の中で常に挑戦、変革し続け、社会と時代のニーズに合った製品、システム、サービスを提供し、社会から信頼されるサンデnbrランドの確立に向けて取り組んでまいります。

これからもあらゆる機会において、ステークホルダーの皆さまと積極的にコミュニケーションを深めてまいりたいと考えておりますので、引き続きのご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Contents

- 1 トップメッセージ/企業理念体系
- 2 At a Glance
- 4 特集: Responsibly Creating Shared Value
- 4 価値を生み出すサンデンの人財
- 6 時代を切り開く環境技術
- 8 サンデンのCSR活動
- 8 サンデンと環境
- 12 サンデンとお客さま
- 13 サンデンと社員
- 14 サンデンと取引先/サンデンと株主・投資家
- 15 サンデンと地域社会
- 16 コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス
- 17 第三者意見

編集方針

サンデングループは、ステークホルダーの皆さまのかかわりや事業内容を分かりやすくお伝えするため、2005年から「サンデンCSR報告書」を毎年発行しています。本冊子は企業理念と経営方針に基づく基本的な考え方・取り組みを掲載したダイジェスト版です。Webにはより詳細なデータや最新の活動に関する情報を公開しています。

- 対象期間
2016年4月1日～2017年3月31日
活動や取り組み内容は2017年4月以降につきましても、できるだけ最新の動向をお伝えしています。
- 対象範囲
本報告書はサンデングループ(サンデンホールディングス株式会社と連結子会社および関連会社)を報告対象としていますが、一部の項目については個別に対象範囲を明記しています。
- 参考にしたガイドライン
GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン」、環境省「環境報告ガイドライン2012」を参考にしました。

企業理念体系

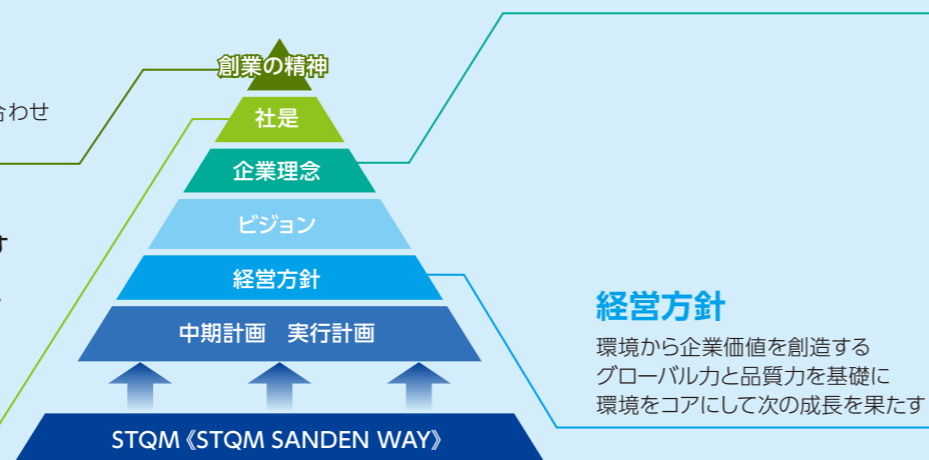
企業理念体系は、サンデンがグローバル・エクセレント・カンパニーズとして果たすべき企業および社員の行動の原点を体系化したものです。

創業の精神

知を以て開き 和を以て豊に
知力により開発・開拓し、みんなの力を合わせ
繁栄しようという意味です。

社是

- 一、顧客のためになるよい製品を作ります
 - 一、仕事を通じて社会福祉と文化の向上に寄与します
 - 一、自己啓発につとめ誇り高き会社の建設に努力します
- 会社創業以来の社員の行動基軸です。



経営方針

環境から企業価値を創造する
グローバル力と品質力を基礎に
環境をコアにして次の成長を果たす

企業理念

G-SDC (サンデングループ) は国の内外を問わず法令、国際ルールを遵守し、次の10原則に従い行動します。

基本原則 国際社会の中で共感する普遍的価値観

1. 良き企業市民、社会との調和	国際社会の一員として社会と調和し、社会から信頼される良き企業市民として成長していきます。
2. 人権尊重	あらゆる人の尊厳と基本的人権尊重の精神に基づく企業文化を築きます。
3. 環境	かけがえない美しい地球を次の世代の人々に引き継ぐために、企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動します。
4. 企業倫理	高い倫理観のもと、誠実でフェアな企業活動を行います。
5. 安全衛生	社員のゆとりと豊かさを実現し、安全衛生と健康に配慮した働きやすい環境を確保します。

ステークホルダーに対する基本姿勢

6. お客様	技術開発とモノづくりを基本として、品質を第一に考え、常に世界中のお客様に満足される魅力のある製品、システム、サービスを提供します。
7. 社員	挑戦と改革の企業文化を基本として、人間性尊重の精神に溢れた自由闊達な組織文化を築き、社員とともに成長していきます。
8. 株主・投資家	会社を成長させ企業価値を高めるとともに、経営の透明性向上により、株主・投資家の信頼と期待に応えます。
9. 地域社会	世界各地の慣習や文化を尊重するとともに、地域社会の発展や文化の向上に貢献します。
10. 取引先	取引先とは公正かつ透明な取引関係に基づき、お客様に対し最高の製品、システム、サービスを提供できるビジネスパートナーとして、ともに成長します。